

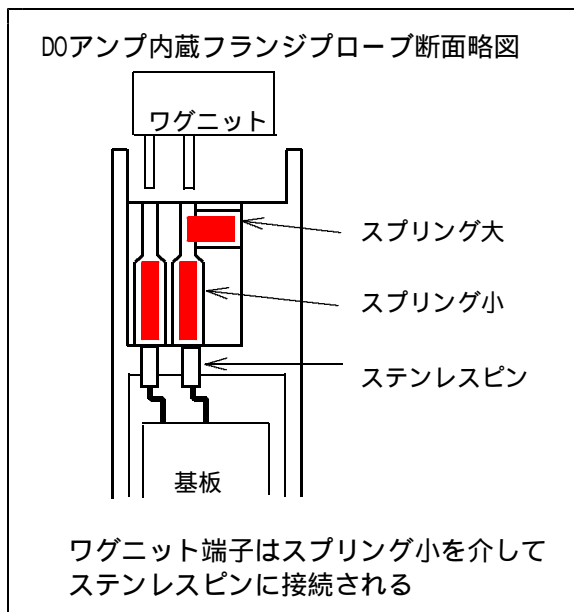
水入り故障ゼロのD0アンプ内蔵フランジプローブ

従来型のプローブはワグニットのOリングのみで防水をしていた為、キャップの締め込み不足等でOリングが機能しないと、ソケット部から内部基板配線部まで水入りをし故障の原因となっていた。

また水入りした際はメーカー修理となり、お客様でメンテ出来ない不便さがあった。



キャップ
ワグニット このOリングで防水
従来型プローブ



D0アンプ内蔵フランジプローブは防水性アップを重視してステンレスピン圧入+スプリング構造とし、ワグニット端子と基板配線部を完全に隔離して、ソケット部からの基板内水入りの可能性をゼロにした。

またソケットの端子差し込み口にもスプリングを利用し、ワグニットの差し込み感触の堅さを解消、スムーズな挿入感を実現した。

固定ねじを外し
2Pガイド部を
引き抜く



内部を清掃する



さらにソケットの端子差し込み口（2Pガイド）部のみ取り外せる構造の為、万一ソケット部に水入りしてもお客様で取り外しメンテナンス可能となり、メーカー修理依頼の煩わしさを解消した。

（たとえば従来品ではお客様がワグニットを付け忘れて測定水中に入れた場合、即故障修理だったが、D0アンプ内蔵フランジプローブではお客様の現場にて分解、洗浄、乾燥を行えば使用可能で、また汚れが付いてなければ乾燥のみで使用できる構造になった。）